

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(種子島の自然を感じる場(その歴史チック))

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意...単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

①「天女ヶ倉」

○天女ヶ倉は安納にあり、安納は自然の多い場である。
 また、ツツ人は住んでいるため、丁度良い夜景が見られるが、私自身の意見でいうと、昼の方が景色は絶景であると思う。なぜそう思うかはあなた自身で確かめてみると分かるはず...。でも夜は、流星群の時期になると、とても見やすいため天体観測にはとてもピッタリだと思える。
 ○山頂にある天女ヶ倉神社は、天狗が置き去ったという石が祀られていることで知られている。

△拝殿から巨石までの道は足場が悪いので十分に気をつけよう!



②「馬立の岩屋」

○馬立の岩屋は大城海岸の北端にある海蝕洞であり、なぜ穴が空いているのかはとても不思議です。そこは自分で調べてみるとよいかもしれませんね...

○第10代島主である種子島備時が洞窟で消息を断ち、穴の前で主人の帰りを待っていた馬になぞらえて、「馬立」と名付けられたという逸話がある。

△洞窟内は立入禁止なので、外から眺めてあげるようにしましょう!

○この岩から自然の迫力を感じられる!!



③「千座の岩屋」

○千座の岩屋は、南種子町にあり、干潮時はとても見栄えが良い。

○種子島最大の海蝕洞であり、1000人が座れるほど洞内が広いことからその名が付いたといわれている。

☆干潮時には中に入ることができ、長い年月によって作られた神秘的な空間を堪能できる。

※海水浴もトナリーにあるので、楽しめます。

! 干潮時を狙って千座の岩屋にやってくると良い。間違っても満潮時にやってくることがないように!!



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

・SOToASOBI.net

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。